

エアレギュレータ
形 NRV-2□□
形 NRV-3□□
部品交換要領書

目次

形 NRV-2□□／NRV-3□□ シール交換キット

| | |
|--|---|
| 品番 MK0067～70, MK0073～76, MK0079～82, MK0085～88, MK0091～94, MK0096～99..... | 2 |
| 品番 MK0071, MK0077, MK0083, MK0089, MK0095, MK00100 | 4 |
| 品番 MK0072, MK0078, MK0084, MK0090..... | 6 |
| 品番 MK0128, MK0129..... | 8 |

プラグ交換キット

| | |
|------------------------|----|
| 品番 MK0101～MK0109 | 10 |
| 品番 MK0140 | 11 |

[ご注意]

この資料の記載内容は、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

本資料からの無断転載、複製はご遠慮ください。

アズビルTACO株式会社 <https://atc.azbil.com/>

2013年4月1日、TACO株式会社はアズビルTACO株式会社へ社名を変更いたしました。

東京都板橋区高島平 9-27-9 TEL:03-3936-2311

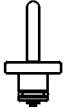



品番 MK0067～70, MK0073～76, MK0079～82, MK0085～88, MK0091～94, MK0096～99

品名 NRV-200/300 シール交換キット

※注意 作業開始前に、エアレギュレータの供給圧力を遮断し、OUT側の圧力を排気してください。

《作業開始前》

同梱物の確認

| ① x 1個 | ② x 1個 | ③ x 1本 | ④ x 2本 |
|---|---|---|---|
|  |  |  |  |
| バルブアセンブリ 0リング組込済 | ダイヤフラム アセンブリ | Oリング | 十字穴付小ねじ (紛失時の予備品) |

分解および組立に必要な工具、ウエス等については、お客様にてご用意ください。

必要工具：十字ねじ回し 呼び番号2

スパナ 対辺17mm

《分解手順》

1. ロックナットをゆるめ、調圧ハンドルを反時計方向に回してゆるめます。
 2. ボンネット固定用の十字穴付小ねじをゆるめて取り外し、ボンネット、ばね受け、調圧ばねおよびダイヤフラムアセンブリを取り外します。
注意：ばね受け、調圧ばねの数は製品形式により異なります。(図1参照)
 3. 底部のプラグをゆるめて取り外し、スクリーン、弁ばね、バルブアセンブリを取り外します。
 4. プラグに装着されているOリングを取り外します。
 5. 3で取り外したスクリーンは内側からエアブローを行い、配管時のシールテープ等を取除いておきます。
- ※ 取り外したダイヤフラムアセンブリ、バルブアセンブリおよびOリングは使用しません。
産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。

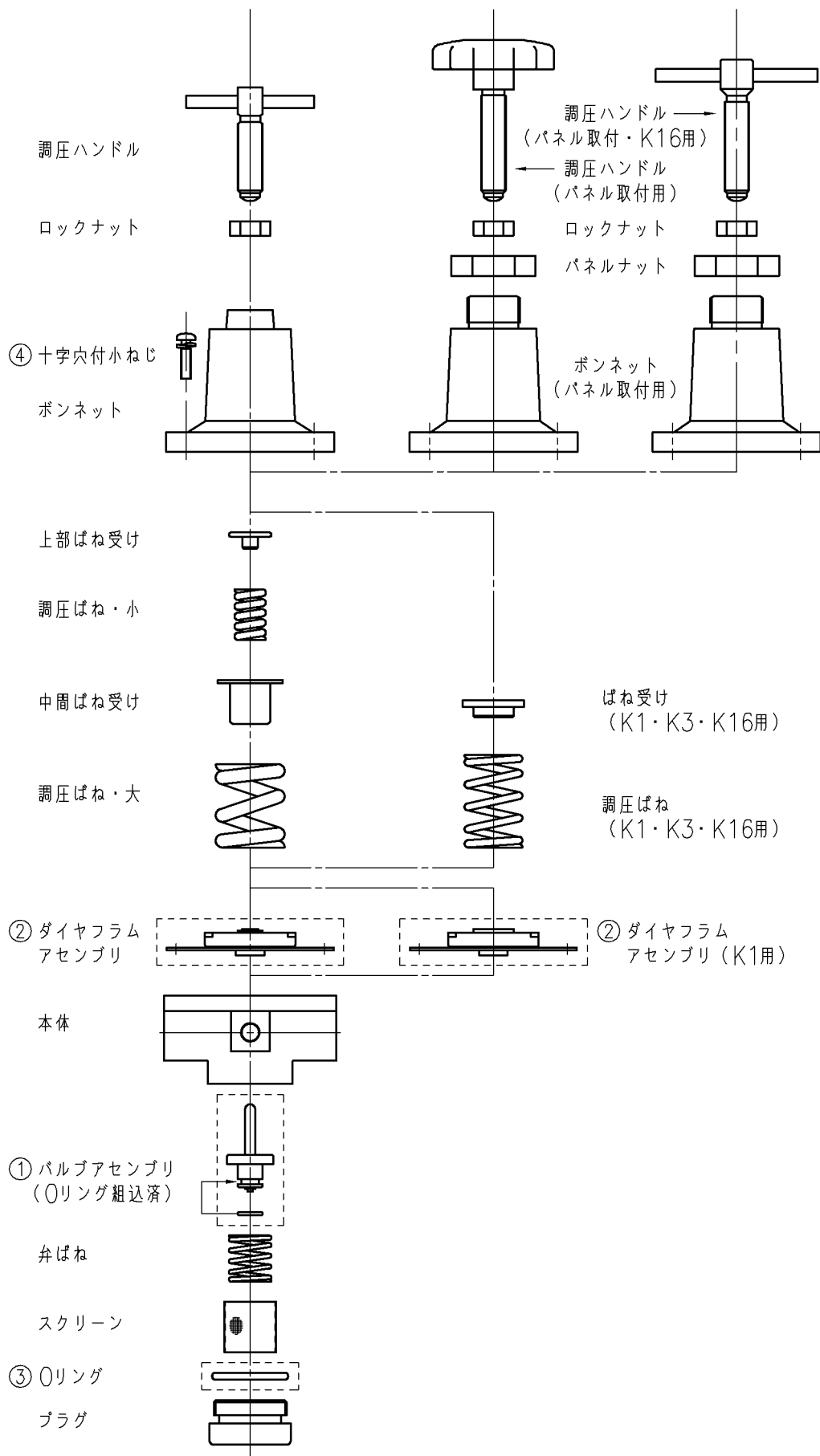
《組立手順》

1. Oリング③をプラグに装着します。
2. 本体にバルブアセンブリ①、弁ばね、スクリーンを挿入し、プラグを被せてねじ込みます。
ねじ込み後、本体とプラグの間に隙間がないことを確認します。
3. プラグを下側にして台に置き本体上面から飛び出しているバルブを手で押下げ、スムーズに動くことを確認します。
4. ダイヤフラムアセンブリ②の6箇所穴を本体のタップ位置に合わせて置きます。
5. 調圧ばね、ばね受けをダイヤフラムにのせます。
注意：ばね受け、調圧ばねの数は製品形式により異なります。(図1)
6. ボンネットの6箇所の取付穴をダイヤフラムの穴に合わせて被せ、十字穴付小ねじを締め付けて固定します。
※ 締付けは片締めとならぬよう、対角に締付けます。

《交換後の確認事項》

1. 調圧ハンドルを反時計方向に回し、ゆるんでいることを確認します。
2. INポートに圧力を供給します。
3. 調圧ハンドルを時計方向に回し、OUT側圧力がスムーズに上昇することを確認します。
4. 調圧ハンドルを反時計方向に回し、OUT側圧力が減圧することを確認します。
注意：ノンリリーフタイプの場合、OUT側が閉回路状態では、減圧することはできません。
OUT側に排気用バルブを設けてください。
5. 本体とプラグの間、ダイヤフラムの締付部から空気の漏れがないことを確認します。

図 1



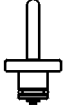



品番 MK0071, MK0077, MK0083, MK0089, MK0095, MK00100

品名 NRV-200/300 シール交換キット

※注意 作業開始前に、エアレギュレータの供給圧力を遮断し、OUT側の圧力を排気してください。

《作業開始前》

同梱物の確認

| ⑤ x 1個 | ⑥ x 1個 | ⑦ x 1本 | ⑧ x 2本 |
|---|---|---|---|
|  |  |  |  |
| バルブアセンブリ 0リング組込済 | ダイヤフラム アセンブリ | Oリング | 六角ボルト (紛失時の予備品) |

分解および組立に必要な工具、ウエス等については、お客様にてご用意ください。

必要工具：スパナ 対辺10mm

スパナ 対辺17mm

《分解手順》

1. ロックナットをゆるめ、調圧ハンドルを反時計方向に回してゆるめます。
2. ボンネット固定用のM6六角ボルト10本をゆるめて取り外し、ボンネット、ばね受け、調圧ばねおよびダイヤフラムアセンブリを取り外します。
注意：ばね受け、調圧ばねの数は製品形式により異なります。(図2)
3. 底部のプラグをゆるめて取り外し、スクリーン、弁ばね、バルブアセンブリを取り外します。
4. プラグに装着されているOリングを取り外します。
5. 3で取り外したスクリーンは内側からエアブローを行い、配管時のシールテープ等を取除いておきます。
※取り外したダイヤフラムアセンブリ、バルブアセンブリおよびOリングは使用しません。
産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。

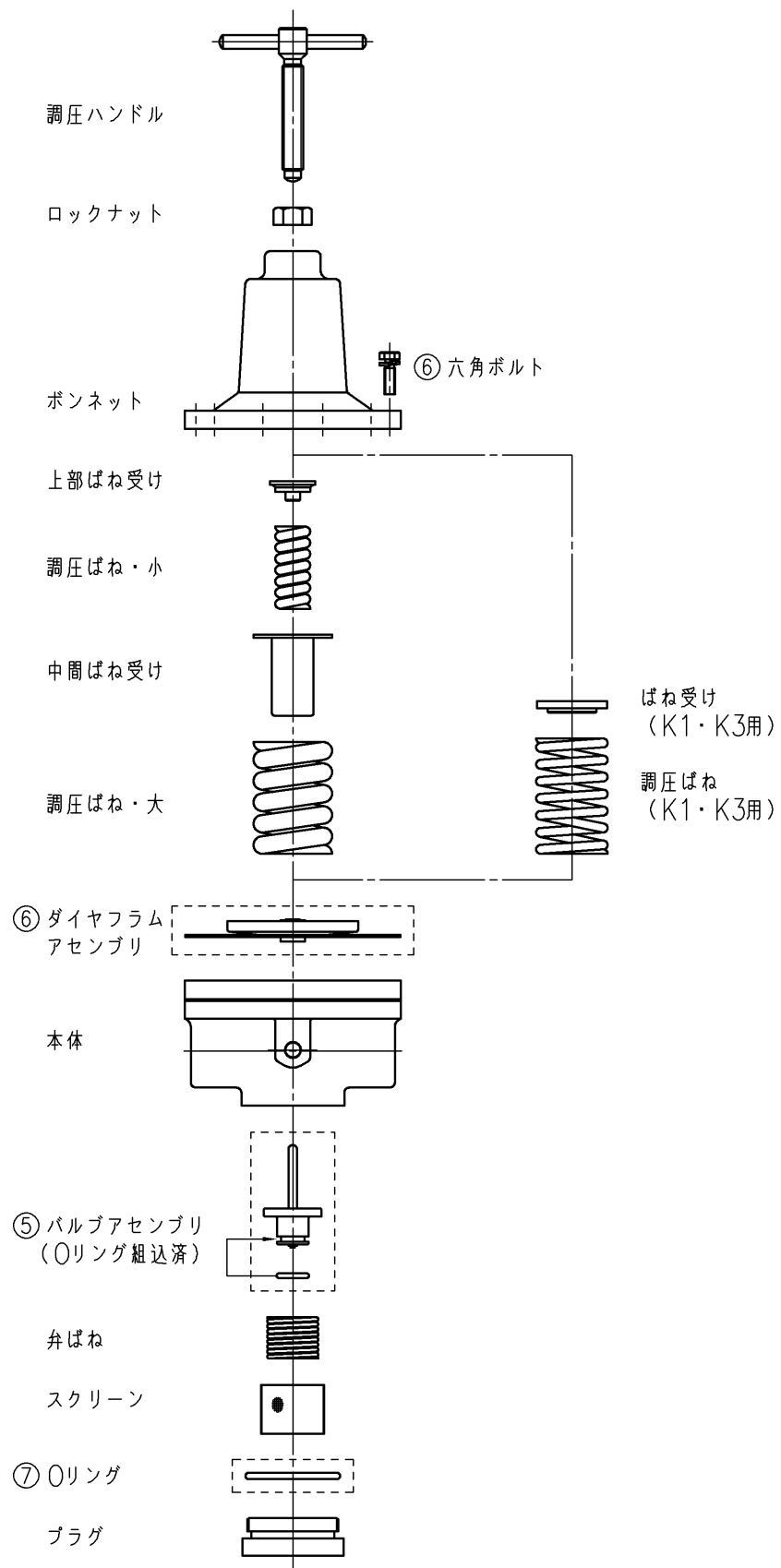
《組立手順》

1. Oリング⑦をプラグに装着します。
2. 本体にバルブアセンブリ⑤、弁ばね、スクリーンを挿入し、プラグを被せてねじ込みます。
ねじ込み後、本体とプラグの間に隙間がないことを確認します。
3. プラグを下側にして台に置き本体上面から飛び出しているバルブを手で押下げ、スムーズに動くことを確認します。
4. ダイヤフラムアセンブリ⑥の10箇所穴を本体のタップ位置に合わせて置きます。
5. 調圧ばね、ばね受けをダイヤフラムアセンブリにのせます。
注意：ばね受け、調圧ばねの数は製品形式により異なります。(図2)
6. ボンネットの6箇所取付穴をダイヤフラムアセンブリの穴に合わせて被せ、M6六角ボルトを締め付け、固定します。
※ 締め付けは片締めとならぬよう、対角に締め付けてください。

《交換後の確認事項》

1. 調圧ハンドルを反時計方向に回し、ゆるんでいることを確認してください。
2. INポートに圧力を供給します。
3. 調圧ハンドルを時計方向に回し、OUT側圧力がスムーズに上昇することを確認します。
4. 調圧ハンドルを反時計方向に回し、OUT側圧力が減圧することを確認します。
注意：ノンリリーフタイプの場合、OUT側が閉回路状態では、減圧することはできません。
OUT側に排気用バルブを設けてください。
5. 本体とプラグの間、ダイヤフラムの締付部から空気の漏れがないことを確認します。

図 2








品番 MK0072, MK0078, MK0084, MK0090

品名 NRV-200/300 シール交換キット

※注意 作業開始前に、エアレギュレータの供給圧力を遮断し、OUT側の圧力を排気してください。

《作業開始前》

同梱物の確認

| ⑨ x 1個 | ⑩ x 1個 | ⑪ x 1本 | ⑫ x 2本 | ⑬ x 2個 |
|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |
| バルブアセンブリ (Oリング組込済) | ダイヤフラム アセンブリ | Oリング | 六角ボルト (紛失時の予備品) | ばね座金 (紛失時の予備品) |

分解および組立に必要な工具、ウエス等については、お客様にてご用意ください。

必要工具：スパナ 対辺 10mm

スパナ 対辺 17mm

《分解手順》

1. ロックナットをゆるめ、調圧ハンドルを反時計方向に回してゆるめます。
 2. ボンネット固定用の M6 六角ボルト 10 本をゆるめて取り外し、ボンネット、上部ばね受け、調圧ばね(小)、中間ばね受け、調圧ばね(大)、およびダイヤフラムアセンブリを取り外します。
 3. 底部のプラグをゆるめて取り外し、スクリーン、弁ばね、バルブアセンブリを取り外します。
 4. プラグに装着されている O リングを取り外します。
 5. 3 で取り外したスクリーンは内側からエアブローを行い、配管時のシールテープ等を取除いておきます。
- ※ 取り外したダイヤフラムアセンブリ、バルブアセンブリおよび O リングは使用しません。
産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。

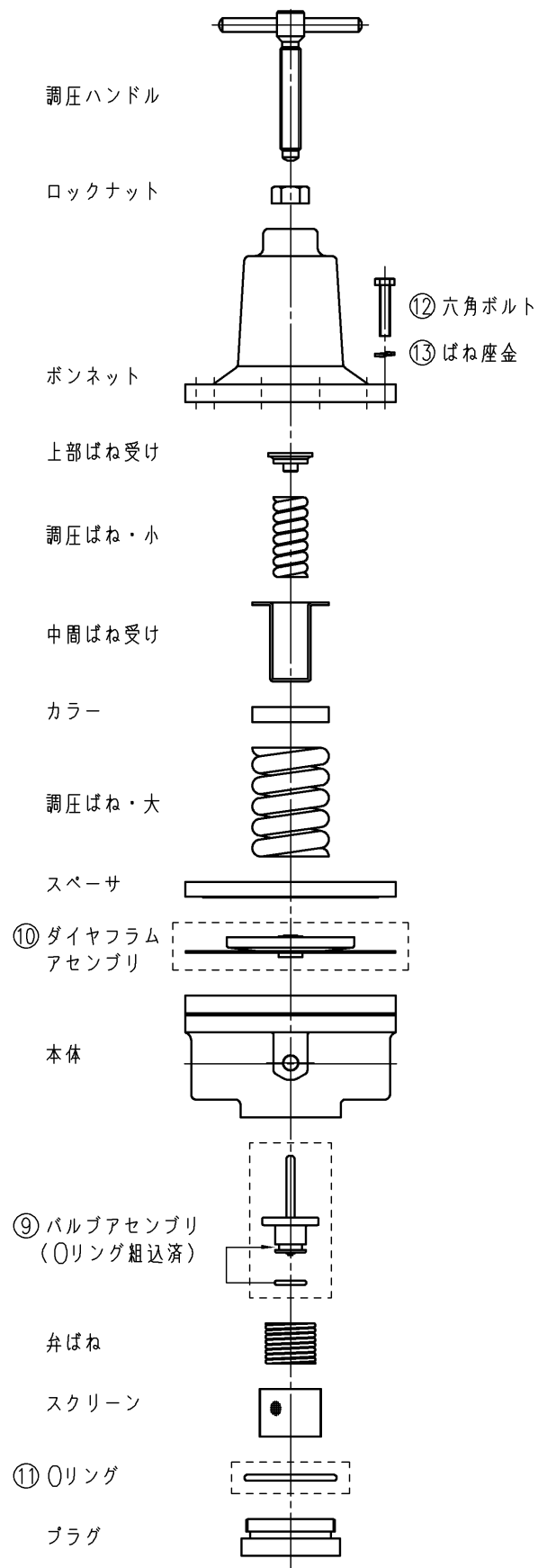
《組立手順》

1. O リング⑪をプラグに装着します。
2. 本体にバルブアセンブリ⑨、弁ばね、スクリーンを挿入し、プラグを被せてねじ込みます。
ねじ込み後、本体とプラグの間に隙間がないことを確認します。
3. プラグを下側にして台に置き本体上面から飛び出しているバルブを手で押下げ、スムーズに動くことを確認します。
4. ダイヤフラムアセンブリ⑩の 10 箇所穴を本体のタップ位置に合わせて置きます。
5. スパースの 10 箇所穴をダイヤフラムの穴に合わせて、ダイヤフラムの上にのせます。
6. 調圧ばね(大)、中間ばね受け、調圧ばね(小)、および上部ばね受けをダイヤフラムにのせます。
7. ボンネットの 10 箇所取付穴をダイヤフラムの穴に合わせて被せ、ばね座金を M6 六角ボルトにセットして締め付け、固定します。
注意：締め付けは片締めとならぬよう、対角に締付けてください。

《交換後の確認事項》

1. 調圧ハンドルを反時計方向に回し、ゆるんでいることを確認してください。
2. IN ポートに圧力を供給します。
3. 調圧ハンドルを時計方向に回し、OUT 側圧力がスムーズに上昇することを確認します。
4. 調圧ハンドルを反時計方向に回し、OUT 側圧力が減圧することを確認します。
注意：ノンリリーフタイプの場合、OUT 側が閉回路状態では、減圧することはできません。
OUT 側に排気用バルブを設けてください。
5. 本体とプラグの間、ダイヤフラムの締付部から空気の漏れがないことを確認します。

図 3








| |
|-------------------------|
| 品番 MK0128, MK0129 |
| 品名 NRV-200/300 シール交換キット |

※注意 作業開始前に、エアレギュレータの供給圧力を遮断し、OUT側の圧力を排気してください。

《作業開始前》

同梱物の確認

| ⑭ x 1個 | ⑮ x 1個 | ⑯ x 1本 | ⑰ x 2本 | ⑱ x 2個 |
|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |
| バルブアセンブリ (Oリング組込済) | ダイヤフラム アセンブリ | Oリング | 六角ボルト (紛失時の予備品) | ばね座金 (紛失時の予備品) |

分解および組立に必要な工具、ウエス等については、お客様にてご用意ください。

必要工具：スパナ 対辺 10mm

スパナ 対辺 17mm

スパナ 対辺 60mm

《分解手順》

1. ロックナットをゆるめ、調圧ハンドルを反時計方向に回してゆるめます。
 2. ボンネット固定用のM6六角ボルト10本をゆるめて取り外し、ボンネット、上部ばね受け、調圧ばね(小)、中間ばね受け、調圧ばね(大)、およびダイヤフラムアセンブリを取り外します。
 3. 底部のプラグをスパナでゆるめて取り外し、スクリーン、弁ばね、バルブアセンブリを取り外します。
 4. プラグに装着されているOリングを取り外します。
 5. 3で取り外したスクリーンは内側からエアブローを行い、配管時のシールテープ等を取除いておきます。
- ※ 取り外したダイヤフラムアセンブリ、バルブアセンブリおよびOリングは使用しません。
産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。

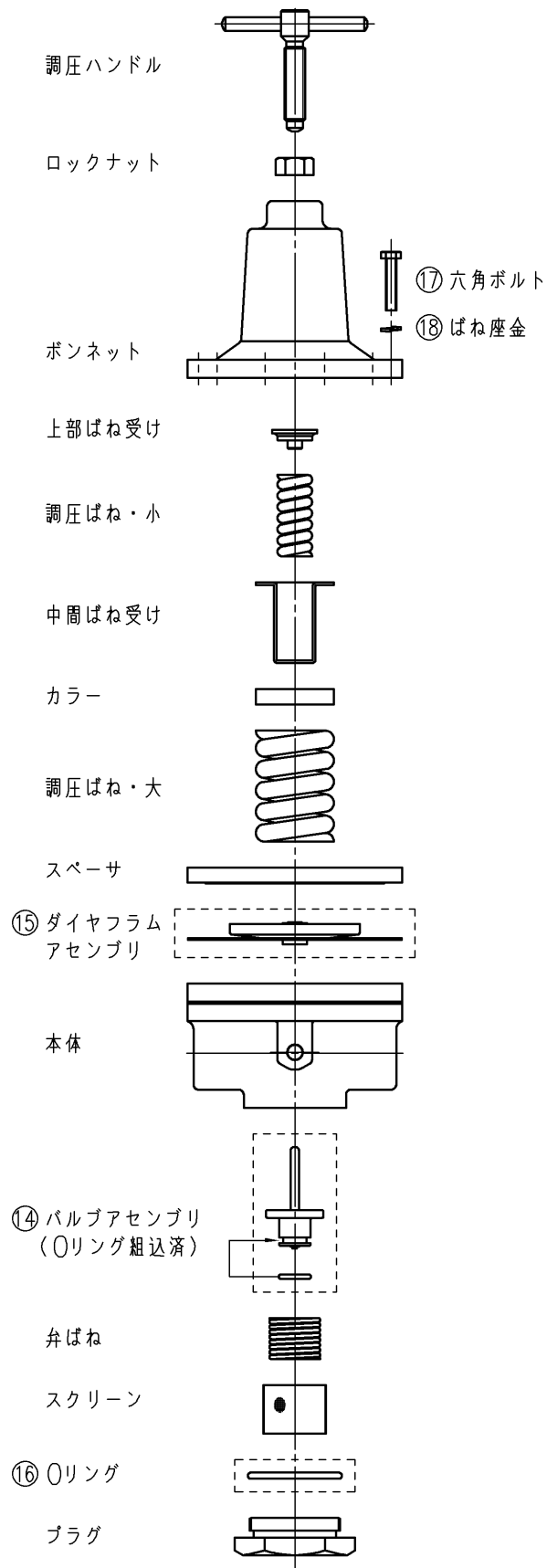
《組立手順》

1. Oリング⑯をプラグに装着します。
 2. 本体にバルブアセンブリ⑨、弁ばね、スクリーンを挿入し、プラグを被せてねじ込み、スパナで締め付けます。ねじ込み後、本体とプラグの間に隙間がないことを確認します。
 3. プラグを下側にして台に置き本体上面から飛び出しているバルブを手で押下げ、スムーズに動くことを確認します。
 4. ダイヤフラムアセンブリ⑮の10箇所穴を本体のタップ位置に合わせて置きます。
 5. スペーサの10箇所穴をダイヤフラムの穴に合わせて、ダイヤフラムの上にのせます。
 6. 調圧ばね(大)、中間ばね受け、調圧ばね(小)、および上部ばね受けをダイヤフラムにのせます。
 7. ボンネットの10箇所取付穴をダイヤフラムの穴に合わせて被せ、ばね座金をM6六角ボルトにセットして締め付け、固定します。
- 注意：締め付けは片締めとならぬよう、対角に締め付けてください。

《交換後の確認事項》

1. 調圧ハンドルを反時計方向に回し、ゆるんでいることを確認してください。
 2. INポートに圧力を供給します。
 3. 調圧ハンドルを時計方向に回し、OUT側圧力がスムーズに上昇することを確認します。
 4. 調圧ハンドルを反時計方向に回し、OUT側圧力が減圧することを確認します。
- 注意：ノンリリーフタイプの場合、OUT側が閉回路状態では、減圧することはできません。
OUT側に排気用バルブを設けてください。
5. 本体とプラグの間、ダイヤフラムの締め付部から空気の漏れがないことを確認します。

図 4



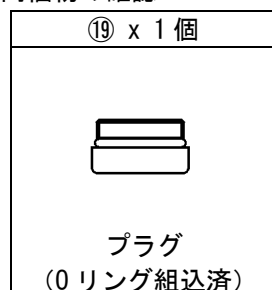
品番 MK0101～MK0109

品名 NRV-200/300 プラグ交換キット

※注意 作業開始前に、エアレギュレータの供給圧力を遮断し、OUT 側の圧力を排気してください。

《作業開始前》

同梱物の確認



分解および組立に必要な工具、ウエス等については、お客様にてご用意ください。

必要工具：

《分解手順》

1. ロックナットをゆるめ、調圧ハンドルを反時計方向に回してゆるめます。
 2. 底部のプラグをゆるめて取り外し、スクリーン、弁ばね、バルブアセンブリを取り外します。
 3. 2 で取り外したスクリーンは内側からエアブローを行い、配管時のシールテープ等を取り除いておきます。
- ※ 取り外したプラグ（Oリング付）は使用しません。
産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。

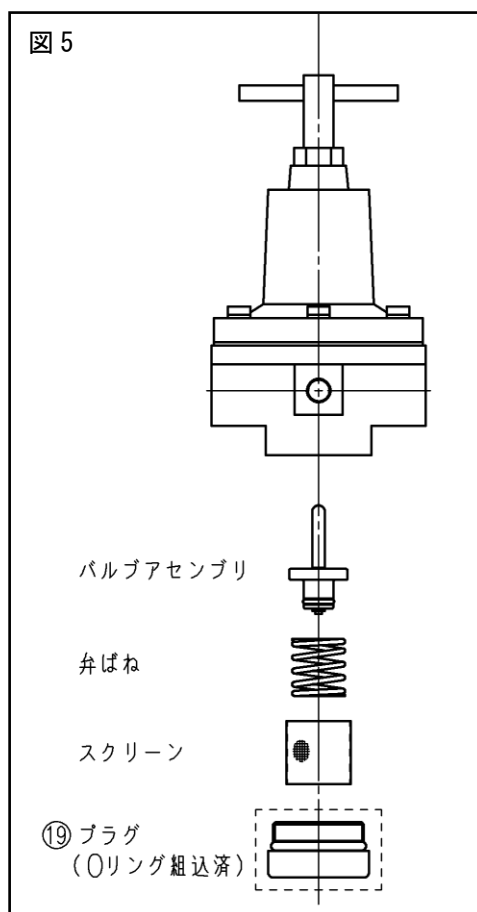
《組立手順》

1. 本体にバルブアセンブリ、弁ばね、スクリーンを挿入し、プラグ⑱を被せてねじ込みます。
ねじ込み後、本体とプラグの間に隙間がないことを確認します。

《交換後の確認事項》

1. 調圧ハンドルを反時計方向に回し、ゆるんでいることを確認します。
2. IN ポートに圧力を供給します。
3. 調圧ハンドルを時計方向に回し、OUT 側圧力がスムーズに上昇することを確認します。
4. 調圧ハンドルを反時計方向に回し、OUT 側圧力が減圧することを確認します。
注意：ノンリリーフタイプの場合、OUT 側が閉回路状態では、減圧することはできません。
OUT 側に排気用バルブを設けてください。
5. 本体とプラグの間、ダイヤフラムの締付部から空気の漏れがないことを確認します。

図 5



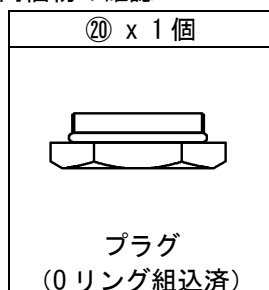
品番 MK0140

品名 NRV-200/300 プラグ交換キット

※注意 作業開始前に、エアレギュレータの供給圧力を遮断し、OUT 側の圧力を排気してください。

《作業開始前》

同梱物の確認



分解および組立に必要な工具、ウエス等については、お客様にてご用意ください。

必要工具：スパナ 対辺 60mm

《分解手順》

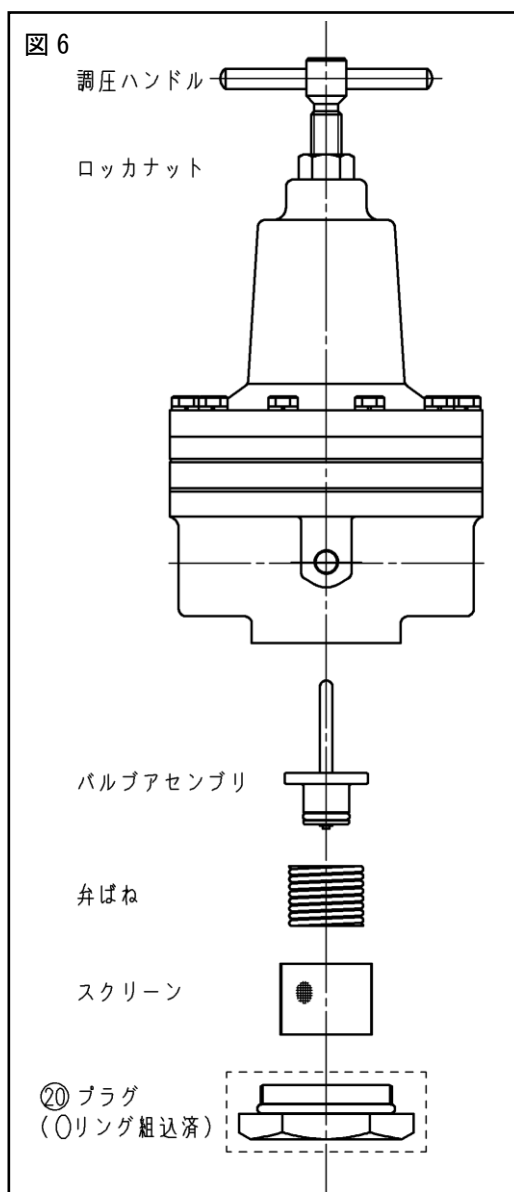
1. ロックナットをゆるめ、調圧ハンドルを反時計方向に回してゆるめます。
 2. 底部のプラグをスパナでゆるめて取り外し、スクリーン、弁ばね、バルブアセンブリを取り外します。
 3. 2で取り外したスクリーンは内側からエアブローを行い、配管時のシールテープ等を取り除いておきます。
- ※ 取り外したプラグ（Oリング付）は使用しません。
産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。

《組立手順》

1. 本体にバルブアセンブリ、弁ばね、スクリーンを挿入し、プラグ⑳を被せてねじ込み、スパナで締め付けます。
ねじ込み後、本体とプラグの間に隙間がないことを確認します。

《交換後の確認事項》

1. 調圧ハンドルを反時計方向に回し、ゆるんでいることを確認します。
2. IN ポートに圧力を供給します。
3. 調圧ハンドルを時計方向に回し、OUT 側圧力がスムーズに上昇することを確認します。
4. 調圧ハンドルを反時計方向に回し、OUT 側圧力が減圧することを確認します。
注意：ノンリリーフタイプの場合、OUT 側が閉回路状態では、減圧することはできません。
OUT 側に排気用バルブを設けてください。
5. 本体とプラグの間、ダイヤフラムの締付部から空気の漏れがないことを確認します。



-MEMO-
